

# 外国語科学習指導案

〇〇高等学校  
〇〇 〇〇

- 1 履修単位数 3 単位
- 2 実施日時 令和4年 月 日 ( ) 第 時限
- 3 学 級 〇〇HR (〇〇名)
- 4 使用教科書 Amity English Communication I (開隆堂)
- 5 単 元 名 Unit 3 Love for Dance

## 6 本単元で扱う領域における「CAN-DO リスト形式」による学習到達目標 (第1学年)

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
ゆっくりはっきり話されれば、身の周りの事柄に対する平易でごく短い会話や説明を、視覚情報などを参考にしながら理解することができる。	身の周りの事柄に関して平易な英語で書かれたごく短い説明を読んで、視覚情報などを参考にしながら、概要を理解することができる。	相手のサポート (ゆっくり話す、繰り返す、言い換える、自分が言いたいことを表現するのに助け舟を出してくれるなど) があれば、ごく身近な話題について、簡単な表現を使って質疑応答をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な語句や文を用いて、自分について話すことができる。</li> <li>・ごく身近な事柄や出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分に関するごく限られた情報を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。</li> <li>・ごく身近な事柄について、簡単な語句や文を用いて書くことができる。</li> </ul>

## 7 単元設定の理由

### ○教材観

本単元は、様々なダンスについて取り上げている。中学校の保健体育でダンスが必修化されたり、SNSでダンス動画の投稿が手軽にできたりすることからも、多くの生徒にとって身近な内容であると言える。言語材料としては、動画の内容を伝えたり、できることや自分の考えなどを表現したりするために進行形と助動詞が用いられている。したがって本文を読んでダンスの力について話しあったり、絵や写真を見て思ったことや感じたことを表現したりする力を養うことができるものと考ええる。

### ○生徒観

本学級の生徒の多くは、中学校における英語の基礎的な学習が十分身に付いておらず、英語に対する苦手意識を持っている。しかし、まじめで前向きな生徒が多く、1学期には比較のためらわずに、英語でプレゼンテーションをすることもできた。しかし、ペアワークを苦手とする生徒やペアを見つけること自体が苦手な生徒もいるなど、コミュニケーション力に課題がある。そのような生徒たちにも配慮しながら、自分の好きな動画を見せ合ってその内容や自分の考えを伝える活動を通して、対話による自己発信力や自信を身に付けさせたい。

### ○指導観

本単元は、生徒にとって身近な存在であるダンスが取り上げられている。ダンス動画を視聴するのが好きだと答える生徒は多く、また、踊ることが好きではないものの、人はなぜ踊るのかという

問いに対して、生徒は様々な考えをもっている。そこで、言語活動として、自分の好きな動画を英語で説明する活動を通して、話すことに焦点を当てた指導を行う。単元終末の言語活動として、新しく本校に赴任したALTに対して、高校生が好きだと思う動画について英語で説明するという活動を行う。自分の好きなことについて、相手に十分伝わるようにするにはどうしたらよいかを生徒に考えさせ、実践させることにより英語で説明する力を身に付けさせたい。

## 8 単元の目標

聞き手に自分の考えを理解してもらえるように、好きな動画についての説明や理由などを英語で話して伝えることができる。

## 9 単元の評価規準（「話すこと [発表]」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈知識〉 情報や考えを述べるために必要となる語彙や表現、音声などを理解している。 〈技能〉 好きな動画について説明や感想などを話して伝える技能を身に付けている。	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことをもとに、基本的な語句や表現を用いて、好きな動画についての説明や感想などを話して伝えている。	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことをもとに、基本的な語句や表現を用いて、好きな動画についての説明や感想などを話して伝えようとしている。

10 指導と評価の計画（9時間）

時間	ねらい（■），言語活動等（丸数字）	評 価			備考
		知	思	態	
1	<p>■単元の目標を理解する。</p> <p>■ダンスについての興味関心を持たせる。</p> <p>①ダンスについてのアンケートに回答する。</p>	一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。			
2	<p>■ § 1 の本文の概要を確認する。</p> <p>①ペアやグループで語彙や本文の音読練習をする。</p> <p>②本文を聞いて、語句や表現を確認する。</p>				
3	<p>■ § 1 の本文の要点を把握する。</p> <p>①本文で使われている進行形について確認する。</p> <p>②本文の内容に関するリスニング問題に取り組む。</p>				
4	<p>■進行形の使い方について確認するとともに、それらを使った表現を活用する。</p> <p>①写真を見て、動物や人が何をしているところなのか英語で表現する。</p> <p>②コンピュータを使って何をするかについて、ペアで説明しあう。</p>				
5	<p>■ § 2 の本文の概要を確認する。</p> <p>①ペアやグループで語彙や本文の音読練習をする。</p> <p>②本文を聞いて、語句や表現を確認する。</p>				
6	<p>■ § 2 の本文の要点を把握する。</p> <p>①本文で使われている助動詞について確認する。</p> <p>②本文の内容に関するリスニング問題に取り組む。</p>				
7	<p>■助動詞の使い方について確認するとともに、それらを使った表現を活用する。</p> <p>①クラスメイトと助動詞を使った質問のやり取りをする。</p> <p>②得意なことについて、ペアで説明しあう。</p>				
8	<p>■好きな動画を紹介する準備をする。</p> <p>①タブレット端末でモデルスピーチを視聴する。</p> <p>②自分の好きな動画について説明するために、自分の考えを日本語で説明する。</p>				
9	<p>■好きな動画について英語で説明したり、好きな理由を話したりする。</p> <p>①モデルスピーチを再度視聴し、発表態度などの留意点を確認する。</p> <p>②スピーチの練習を行う。</p> <p>③グループ内で順番に発表をする。</p> <p>④発表について振り返る。</p>				<p>・本単元の評価規準に照らして観察し、本単元で学習した語句や表現の活用、スピーチの構成、音声上の留意点、発表態度について確認をし、適宜フィードバックを行う。</p>
後日	<p>パフォーマンステスト</p> <p>・高校生の流行や好みを知りたがっているALTに伝えるように、自分の好きな動画について説明し、なぜそれが好きなのかを話して伝える。</p>	○	○	○	

1.1 本時の活動（第9時）

(1) 目標

好きな動画について英語で説明したり、好きな理由を話したりすることができる。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
2分	1 挨拶をし、本時の目標について知る。  To talk about your favorite video clips.	・全体に挨拶する。本時の目標を見せる。		
3分	2 メッセージ動画を視聴する。	・メッセージ動画を視聴させ、活動の目的を明確にする。	一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは必ず行う。	活動観察
2分	3 モデルスピーチを視聴する。	・モデルスピーチを視聴させ、発表態度などの留意点を確認させる。		
10分	4 スピーチの練習をする。	・ペアで発表を練習させる。 ・分からない単語や表現があれば調べても良いと伝える。		
25分	5 好きな動画を見せた後、グループ内で順番に発表する。	・グループ同士の間隔を開ける。 ・音量に注意させる。		
8分	6 本時の活動について振り返り、良かった発表について Forms に記入する。	・回答をクラスで共有する。 ・インターネットにつながらない生徒には用紙を渡す。		

(3) 評価及び指導の例（「話すこと [発表]」）

「十分満足できる」と判断される状況(a)	進行形や助動詞の使い方を理解しており、動画について相手に伝わるように紹介している。
「おおむね満足できる」状況(b)を実現するための具体的な指導	進行形や気持ちなどが書かれた表現リストを参考にしながら動画について説明することができるよう支援する。
「努力を要する」状況(c)と判断した生徒への事後指導	進行形と現在形の違いについて動画や写真を用いながら説明する。また、生徒がどのように感じているのか丁寧なヒアリングを行い、気持ちを言語化できるように支援しながら「おおむね満足できる」状況(b)を達成できるようにする。